

平成29年度 小動物獣医学会 (北海道)

地区学会長：宮原 和郎 (帯広畜産大学)

第1日 (9月7日) 会場 (C1号館301)

9:00~9:40 座長：掛端 健士 (かけはた動物病院) 久保 明 (どうぶつ眼科VECS)

- 小-1 卵巣子宮摘出術後に外眼筋炎がみられた犬の1例 77
○益子亜里沙¹⁾ 林 美里¹⁾ 加藤礼子²⁾ 前原誠也^{1,2)}

(¹⁾酪農大院獣医学 ²⁾酪農大附属動物医療センター)

- 小-2 外傷性強膜穿孔に対して強膜内シリコンインプラント挿入術を行った犬の2例 77
○加藤礼子¹⁾ 林 美里²⁾ 益子亜里沙²⁾ 前原誠也^{1,2)}

(¹⁾酪農大附属動物医療センター ²⁾酪農大院獣医学)

- 小-3 嘔吐時の一過性網膜虚血に起因した視覚障害が疑われた猫の1例 78
○林 美里¹⁾ 益子亜里沙¹⁾ 加藤礼子²⁾ 前原誠也^{1,2)}

(¹⁾酪農大院獣医学 ²⁾酪農大附属動物医療センター)

- 小-4 若齢犬においてマイボーム腺機能低下および形態異常を認めた1例について 78
○北村康也¹⁾ 前原誠也²⁾ 中出哲也²⁾ (¹⁾八雲動物病院 ²⁾酪農大伴侶動物医療学)

9:40~10:40 座長：佐々木 東 (北大) 山下 時明 (真駒内どうぶつ病院)

- 小-5 ウサギの臨床現場における血清C反応性蛋白濃度測定の有用性の評価 79
○大橋英二¹⁾ 松本高太郎²⁾ (¹⁾あかしや動物病院 ²⁾帯畜大臨床獣医学)

- 小-6 犬における非侵襲的輸液反応性指標：脈波変動指数 (PVI) の臨床的有用性 79
○佐藤敬近¹⁾ 石塚友人¹⁾ 大菅辰幸²⁾ 高木 哲¹⁾ 奥村正裕³⁾

(¹⁾北大附属動物病院 ²⁾北大獣医内科学 ³⁾北大獣医外科学)

- 小-7 犬被毛中コルチゾール含有量の変動要因 80
○紙 未千花¹⁾ 藤井利衣¹⁾ 林 英明¹⁾ 椿下早絵²⁾

(¹⁾酪農大生体機能学 ²⁾酪農大獣医保健看護学)

- 小-8 副腎偶発腫から診断した犬のサブクリニカルクッシング症候群の臨床的特徴 80
○永田矩之¹⁾ 大田 寛¹⁾ 佐々木 東¹⁾ 森下啓太郎²⁾ 中村健介^{2,3)} 細谷謙次⁴⁾ 高木 哲²⁾
滝口満喜¹⁾

(¹⁾北大獣医内科学 ²⁾北大附属動物病院 ³⁾宮崎大テニユアトラック推進機構 ⁴⁾北大獣医外科学)

- 小-9 市販フードの給餌により栄養性二次性上皮小体機能亢進症を生じた犬の2例 81
○道下明日香¹⁾ 森下啓太郎¹⁾ 橋場香野¹⁾ 田村昌大²⁾ 金 尚昊³⁾ 佐々木 東²⁾ 大田 寛²⁾

滝口満喜²⁾ (¹⁾北大附属動物病院 ²⁾北大獣医内科学 ³⁾北大獣医外科学)

- 小-10 上皮小体温存両側甲状腺癌切除を行った犬の1例 81
松井研三 (まつい犬猫病院)

10:50~11:50 座長：高木 哲 (北大) 玉本 隆司 (酪農大)

- 小-11 ステロイドが有効だったと考えられた尿管結石の猫の1例 82
○山口由香梨 藤塚淳史 下元康生 小池勇太 前谷茂樹 (まえたに動物病院)

- 小-12 猫の尿管閉塞に対するステロイドの治療効果について 82
○藤塚淳史 山口由香梨 下元康生 小池勇太 前谷茂樹 (まえたに動物病院)

- 小-13 腎盂尿管ファイバースコープを用い尿管側より腎結石を摘出した腎結石および尿管結石症の猫1例 83
○遠藤能史 丹羽昭博 廉澤 剛 (酪農大伴侶動物医療学)

- 小-14 腎不全を伴うアルドステロン症の猫に対し内科療法でQOLの維持を試みた2例…………… 83
 ○松田 彬¹⁾ 添島康介¹⁾ 古川 翔¹⁾ 高良和恵²⁾ 西原佳歩里¹⁾ 高良広之¹⁾
 (1)アース動物病院 (2)美幌動物病院)
- 小-15 尿管腔吻合術によりQOLを維持した尿道移行上皮癌の犬の1例…………… 84
 ○新田野乃¹⁾ 岡崎雅子²⁾ 主濱宏美¹⁾ 松崎 勉¹⁾
 (1)紋別家畜診療センター (2)紋別市オホーツクとっかりセンター)
- 小-16 サモエドの遺伝性糸球体腎炎が疑われた雑種犬の2例…………… 84
 ○小西啓介¹⁾ 五十嵐寛高¹⁾ 小山ますみ²⁾ 玉本隆司³⁾
 (1)酪農大生体機能学 (2)酪農大附属動物医療センター (3)酪農大伴侶動物医療学)

第2日(9月8日)会場(C1号館301)

9:00~10:10

座長: 松本高太郎(帯畜大) 森下啓太郎(北大)

- 小-17 ミコフェノール酸モフェチルが奏功した低形成性骨髄異形成症候群の犬の1例…………… 85
 ○玉本隆司¹⁾ 小山ますみ²⁾ 足立真実¹⁾ 五十嵐寛高³⁾
 (1)酪農大伴侶動物医療学 (2)酪農大附属動物医療センター (3)酪農大生体機能学)
- 小-18 顕著な再生像を認めた非再生性免疫介在性貧血の犬の1例…………… 85
 ○新井田 篤¹⁾ 玉本隆司¹⁾ 足立真実¹⁾ 五十嵐寛高²⁾
 (1)酪農大伴侶動物医療学 (2)酪農大生体機能学)
- 小-19 犬の原発性免疫介在性溶血性貧血(pIMHA)に関する回顧的調査…………… 86
 ○山下時明 山下律子 (真駒内どうぶつ病院)
- 小-20 犬の原発性免疫介在性血小板減少症(pIMT)再発症例の回顧的研究…………… 86
 ○高村大地¹⁾ 森下啓太郎¹⁾ 中島彩乃¹⁾ 竹内恭介¹⁾ 佐々木 東²⁾ 大田 寛²⁾ 滝口満喜²⁾
 (1)北大附属動物病院 (2)北大獣医内科学)
- 小-21 ヘモプラズマによる貧血を繰り返し末期に骨髄腫関連疾患を発症したFIV陽性猫の1例…………… 87
 ○大池三千男 (おいけ動物病院)
- 小-22 腕神経叢と複数のリンパ節にリンパ腫が認められた猫の1例…………… 87
 ○谷口翔一¹⁾ 竹村崇宏²⁾ 三好健二郎¹⁾ 堀 あい¹⁾ 小西郁男³⁾ 井坂光宏¹⁾ 上野博史¹⁾
 (1)酪農大伴侶動物医療学 (2)酪農大附属動物医療センター (3)パルク動物病院)
- 小-23 犬と猫の高悪性度リンパ腫予後因子としてのリンパ球-単球比の検討…………… 88
 ○田川道人¹⁾ 新坊弦也¹⁾ 大村 寛^{1,2)} 松本高太郎³⁾ 富張瑞樹³⁾ 宮原和郎¹⁾
 (1)帯畜大動物医療センター (2)ほうせいアニマルクリニック (3)帯畜大臨床獣医学)

10:20~11:00

座長: 遠藤 能史(酪農大) 田川 道人(帯畜大)

- 小-24 犬腫瘍症例におけるリン酸トセラニブ投与の血管造影CTを用いた短期的評価…………… 88
 ○高木 哲¹⁾ 華園 究¹⁾ 細谷謙次²⁾ 石塚友人¹⁾ 和泉雄介¹⁾ 星野有希¹⁾ 金 尚昊²⁾
 奥村正裕²⁾ (1)北大附属動物病院 (2)北大獣医外科学)
- 小-25 心臓腫瘍に対してトセラニブを使用した犬の1症例…………… 89
 ○林本明子¹⁾ 井坂光宏²⁾ 足立真美²⁾ 佐々木 康³⁾ 堀 泰智²⁾
 (1)酪農大附属動物医療センター (2)酪農大伴侶動物医療学 (3)森林公園どうぶつ病院)
- 小-26 リン酸トセラニブ単独投与にて維持している腺癌、腸骨リンパ節転移の犬の1症例…………… 89
 ○小池政紀¹⁾ 賀川由美子²⁾ (1)なごみ動物クリニック (2)ノースラボ)

小-27	犬の心基底部腫瘍に対する放射線治療における過喚起誘発性無呼吸と強度変調回転照射法を用いた呼吸性移動対策	90
	○加藤 大 ¹⁾ 出口辰弥 ¹⁾ 細谷謙次 ¹⁾ 金 尚昊 ¹⁾ 石塚友人 ²⁾ 華園 究 ²⁾ 高木 哲 ²⁾ 星野有希 ²⁾ 奥村正裕 ¹⁾ (¹⁾ 北大獣医外科学 ²⁾ 北大附属動物病院)	
11:10~12:00 座長:上野 博史(酪農大) 越後 良介(北大)		
小-28	保存療法を行った頸部脊髄損傷の犬8例における臨床的検討	90
	○立石耕右 松野正行 富永牧子 石塚幸恵 酒田尚志 小林輝彦 柄本浩一 (えのもと動物病院)	
小-29	長期保存療法後に頸部脊髄くも膜嚢胞が持続した環椎軸椎不安定症の犬の1例	91
	○石塚幸恵 松野正行 富永牧子 立石耕右 酒田尚志 小林輝彦 柄本浩一 (えのもと動物病院)	
小-30	頸椎椎間板ヘルニアに起因する呼吸障害を人工呼吸で管理したミニチュアダックスフンドの2例	91
	○小島一輝 ¹⁾ 石塚友人 ¹⁾ 高木 哲 ¹⁾ 越後良介 ¹⁾ 武内 亮 ¹⁾ 村上祥子 ¹⁾ 金 尚昊 ²⁾ 星野有希 ¹⁾ 細谷謙次 ²⁾ 奥村正裕 ²⁾ (¹⁾ 北大附属動物病院 ²⁾ 北大獣医外科学)	
小-31	犬の変性性腰仙椎狭窄症に対するX線とMRIを用いた画像解析に関する検討	92
	○木原秀哉 ¹⁾ 越後良介 ²⁾ 華園 究 ²⁾ 金 尚昊 ¹⁾ 細谷謙次 ¹⁾ 奥村正裕 ¹⁾ (¹⁾ 北大獣医外科学 ²⁾ 北大附属動物病院)	
小-32	犬の膝蓋骨脱臼手術の治療成績とrevision手術症例の原因分析	92
	○石原 創 ¹⁾ 小林敦史 ¹⁾ 原田佳祐 ¹⁾ 水戸貴寛 ¹⁾ 峯 弘 ¹⁾ 林本明子 ²⁾ (¹⁾ どうぶつ園通りの動物病院 ²⁾ 酪農大附属動物医療センター)	
13:00~14:00 座長:松本 英樹(まつもと動物病院) 高良 広之(アース動物病院)		
小-33	肝臓のうっ滞および腹水の貯留を伴う拡張型心筋症のフェレットの1例	93
	○大橋銀河 井坂光宏 (酪農大伴侶動物医療学)	
小-34	犬におけるピモベンダン注射薬の強心作用に対する有効性の評価	93
	○平 寛人 石川友駿 中嶋佑治 堀 泰智 (酪農大伴侶動物医療学)	
小-35	犬のイベルメクチン中毒の2例	94
	○亀山健吾 高木志典 川瀬広大 (札幌夜間動物病院)	
小-36	猫のサルコイドの1例	94
	○犬飼久生 ¹⁾ 磯村 洋 ²⁾ (¹⁾ 猫の病院 ²⁾ パソロジカルアシスト)	
小-37	猫伝染性腹膜炎にシクロスポリンを使用した猫の1例	95
	○小山ますみ ¹⁾ 足立真実 ²⁾ 五十嵐寛高 ³⁾ 玉本隆司 ²⁾ (¹⁾ 酪農大附属動物医療センター ²⁾ 酪農大伴侶動物医療学 ³⁾ 酪農大生体機能学)	
小-38	犬パルボウイルス感染症と猫パルボウイルス感染症の治療方法の検討	95
	○原田佳祐 ¹⁾ 小林敦史 ¹⁾ 水戸貴寛 ¹⁾ 峯 弘 ¹⁾ 林本明子 ²⁾ 石原 創 ¹⁾ (¹⁾ どうぶつ園通りの動物病院 ²⁾ 酪農大附属動物医療センター)	
14:00~15:10 座長:富張 瑞樹(帯畜大) 福井 翔(江別白樺通りアニマルクリニック)		
小-39	根尖膿瘍の治療後、半年間再発をみていないウサギの1例	96
	○峯 弘 小林敦史 原田佳祐 水戸貴寛 石原 創 (どうぶつ園通りの動物病院)	
小-40	下顎体-下顎枝移行部内側に発生した腫瘍に対して下顎骨尾側切除術を実施した犬の2例	96
	○河野博紀 ¹⁾ 石崎友美 ¹⁾ 北村龍司 ²⁾ 井上 淳 ³⁾ 岡本 実 ⁴⁾ 廉澤 剛 ¹⁾ (¹⁾ 酪農大附属動物医療センター ²⁾ カレント動物病院 ³⁾ 豊平動物病院 ⁴⁾ 酪農大感染・病理学)	

- 小-41 扁平上皮癌の鼻鏡切除後に鼻孔を口唇粘膜にて再建した犬の1例 97
 ○石崎友美 廉澤 剛 (酪農大附属動物医療センター)
- 小-42 口角部扁平上皮癌摘出後の口唇欠損を後耳介動脈軸状皮弁および転位皮弁で再建した犬の1例 97
 ○谷川慶一¹⁾ 丹羽昭博¹⁾ 前谷茂樹²⁾ 廉澤 剛¹⁾
 (1)酪農大附属動物医療センター 2)まえたに動物病院)
- 小-43 耳下腺導管の開口部切開・拡張により治癒した唾石症の犬の1例 98
 ○竹内恭介¹⁾ 高木 哲¹⁾ 細谷謙次²⁾ 星野有希¹⁾ 金 尚昊²⁾ 華園 究¹⁾ 伊丹貴晴¹⁾ 石塚友人¹⁾
 奥村正裕²⁾ (1)北大附属動物病院 2)北大獣医外科学)
- 小-44 下顎に発生した血管過誤腫の猫の1例 98
 ○村上祥子¹⁾ 高木 哲¹⁾ 賀川由美子²⁾ 石塚友人¹⁾ 華園 究¹⁾ 金 尚昊³⁾ 星野有希¹⁾ 細谷謙次³⁾
 奥村正裕³⁾ (1)北大附属動物病院 2)ノースラボ 3)北大獣医外科学)
- 小-45 気管外プロテーゼ (PLLP) による気管矯正術を行い経過観察した頸部気管虚脱の犬5例 99
 ○西村謙一 (菜の花どうぶつ病院)

15:20~16:30

座長: 華園 究 (北大) 前谷 茂樹 (まえたに動物病院)

- 小-46 後天性門脈体循環シャントを合併した先天性肝線維症の猫の1例 99
 ○田村昌大¹⁾ 森下啓太郎²⁾ 高木 哲²⁾ 早川小百合²⁾ 賀川由美子³⁾ 佐々木 東¹⁾ 大田 寛¹⁾
 滝口満喜¹⁾ (1)北大獣医内科学 2)北大附属動物病院 3)ノースラボ)
- 小-47 アメロイドリングを用いた先天性肝外性門脈体循環シャントの猫の1例 100
 ○金野 弥¹⁾ 竹村崇宏¹⁾ 堀 あい^{1,2)} 三好健二郎^{1,2)} 上野博史^{1,2)} 井坂光宏^{1,2)}
 (1)酪農大附属動物医療センター 2)酪農大伴侶動物医療学)
- 小-48 肝外胆管閉塞に対して胆嚢十二指腸吻合術を施した犬の1例 100
 ○高垣伸吾¹⁾ 五十嵐寛高¹⁾ 手塚 光²⁾ 玉本隆司³⁾ 遠藤能史³⁾
 (1)酪農大生体機能学 2)酪農大附属動物医療センター 3)酪農大伴侶動物医療学)
- 小-49 下垂体性副腎皮質機能亢進症と蛋白喪失性腸症を併発した犬の1例 101
 ○吉田 慧¹⁾ 五十嵐寛高²⁾ 香西春佳³⁾ 湯本優希³⁾ 玉本隆司³⁾
 (1)酪農大附属動物医療センター 2)酪農大生体機能学 3)酪農大伴侶動物医療学)
- 小-50 犬の蛋白漏出性腸症の予後因子解析: 超音波検査所見の有用性の検討 101
 ○大田 寛¹⁾ 賀川由美子²⁾ 佐々木 東¹⁾ 森下啓太郎³⁾ 滝口満喜¹⁾
 (1)北大獣医内科学 2)ノースラボ 3)北大附属動物病院)
- 小-51 組織球性大腸炎のフレンチ・ブルドッグの1例 102
 ○立花由莉加¹⁾ 大田 寛²⁾ 賀川由美子³⁾ 佐々木 東²⁾ 森下啓太郎¹⁾ 滝口満喜²⁾
 (1)北大附属動物病院 2)北大獣医内科学 3)ノースラボ)
- 小-52 術前の骨折評価に超音波検査を用いた犬2例および猫1例 102
 ○竹村崇宏¹⁾ 上野博史²⁾ 林本明子¹⁾ 金野 弥¹⁾ 井坂光宏²⁾
 (1)酪農大附属動物医療センター 2)酪農大伴侶動物医療学)